

栃身連

第113号

発行所

一般財団法人
栃木県身体障害者福祉会連合会
宇都宮市若草1丁目10番6号
とちぎ福祉プラザ2階
発行人 麦倉仁巳
TEL 028-624-8408
FAX 028-624-8418

第19回

栃木県民福祉のつどい
平成25年8月28日 宇都宮市文化会館

県民全体が福祉について考え、参加者が自らの活動への意欲をより高める機会とするため、「第19回栃木県民福祉のつどい」が宇都宮市文化会館において開催されました。第一部式典では、障害者関係で、栃木県知事表彰5名、栃木県身体障害者団体連絡協議会長表彰22名の皆さまが表彰を受けられ、第二部は、講師に毒蝮三太夫氏を迎え、『ラジオ放送の現場で見たこと聞いたこと〜人々とやさしい関係があつて地域は活性化する〜』と題して講演が行われました。



栃木県知事表彰

障害者自立更生者

宇都宮市 田中雄二
足利市 金子勝一
佐野市 塚田光
小山市 橋本繁

障害者支援功労者

宇都宮市 鈴木勇二

栃身協会長表彰

自立更生者

宇都宮市 山本純一
足利市 茂木弘子
佐野市 柏倉美枝子
鹿沼市 大平千恵子
鹿沼市 倉井美枝子
日光市 羽生美枝子
真岡市 磯生美枝子
那須塩原市 磯藤美枝子
さくら市 佐藤美枝子
益子町 寺崎美枝子
塩谷町 神長美枝子
那珂川町 岡秀一

更生支援功労者

宇都宮市 田正男
宇都宮市 矢古村照夫
足利市 茂木春一
大田原市 鈴木和雄
大田原市 鈴木和雄

さくら市 稲見和夫
那須烏山市 川正信
芳賀町 向田一雄
壬生町 小島慶夫
塩谷町 田代治夫
(敬称略)

県民福祉宣言

少子高齢化の急速な進行、地域間の経済格差の拡大、価値観の多様化など、社会構造が大きな転換を迎えつつある今、ふるさと「とちぎ」で暮らす全ての人が、一人ひとり自立し、お互いに支え合い、助け合いながら、安心して住み続けることができる地域社会づくりを目指し、「子どもを健やかに生み育てる環境づくりの推進」「人と地域の輪を広げ、ひとり親家庭への自立支援」「高齢者の健康と生きがいづくりの推進」「障害者の自立支援と社会参加の促進」「共同募金やボランティアなどの民間福祉活動への参加と協力の推進」に積極的に取り組みます。そして、ここに集う私たちをはじめ、本県の福祉関係者が一致協働して、県民の福祉に対する認識と理解をより一層深め、ふるさと「とちぎ」においてノーモラライゼーション社会の実現に努めることを宣言します。

平成25年8月28日

栃木県民福祉のつどい

一般財団法人
 栃木県身体障害者福祉会連合会
 むぎくらひとみ
麦倉仁巳 新会長
 (平成25年7月2日就任)



去る6月9日に急逝されました前小川榮一会長の後任として、7月2日開催の理事会において選任された麦倉会長の略歴は次のとおりです。

略歴

- 平成10年5月 ◆ 宇都宮市身体障害者福祉会連合会会長
- ◆ 財団法人栃木県身体障害者福祉会連合会理事
- 平成13年5月 ◆ 財団法人栃木県身体障害者福祉会連合会副会長
- 平成15年4月 ◆ 社会福祉法人宇都宮市障害者福祉会連合会会長
- 平成25年7月 ◆ 一般財団法人栃木県身体障害者福祉会連合会会長
- ◆ 栃木県身体障害者団体連絡協議会会長

なお、前小川会長が17年にわたり務めておりました「栃木県身体障害者団体連絡協議会会長」は、7月2日付で麦倉会長が就任しました。

また、同じく前小川会長が14年にわたり会長を務めておりました「栃木県障害者スポーツ協会」は、平成25年3月13日付で、特定非営利活動法人として認可されました。後任の会長には6月25日の総会において石橋俊一氏が就任されました。

第9回

栃木県障害者スポーツ大会

平成25年9月29日は晴天に恵まれ第9回栃木県障害者スポーツ大会が宇都宮市の県総合運動公園ほか3会場で開催されました。陸上競技やフライングディスク、卓球など8競技に県内130団体、約2000人の選手が出場し、熱戦を繰り広げました。

開会式では来賓より激励の言葉が贈られ、選手を代表してのさわ特別支援学校の渡辺類選手が力強く選手宣誓しました。

栃木県障害者スポーツ大会は県民総入スポーツを推進し、身体障害者及び知的障害者の健康の保持・増進を図るとともに県民の障害に対する理解を深め、障害者の自立と社会参加を促進することを目的とし、毎年9月に開催されています。



栃木県障害福祉課マスコットキャラクター「ナイチュウ」



みんなのココロとココロをつなぐために誕生しました

第13回

**全国障害者スポーツ大会
 スポーツ祭東京2013**

平成25年10月12日～14日の3日間にわたり、第13回全国障害者スポーツ大会が味の素スタジアム（東京都調布市）をメイン会場に開催されました。

本県からは県スポーツ協会石橋俊一会長を団長に、選手・役員75名が参加、金メダル12個、銀メダル13個、銅メダル14個獲得の活躍で、選手たちの健闘にたくさんの拍手が送られました。

**栃木県選手団
 ◆総員75名**

選手44名（身体障害者20名、知的障害者24名）・役員31名

◆出場種目 6競技21種目

【個人競技】

陸上競技、水泳、卓球、フライングディスク、ボウリング

【団体競技】

バレーボール（聴覚障害男子）

※バレーボールは関東予選を勝ち抜き、本県から初めての団体競技での全国大会出場

栃木県選手団成績（身体障害者）

選手氏名	所属	出場種目1 順位	出場種目2 順位	障害
五十嵐 和 徳	五十嵐漆器(株)	陸上・200m走 1位	陸上・100m走 1位	肢体
渡 辺 類	栃木県立のぞわ特別支援学校	陸上・100m走 3位	陸上・ジャベリックスロー 5位	肢体
奈良田 栄 一	さつきFP事務所	陸上・砲丸投 4位	陸上・ソフトボール投 3位	肢体
齋 藤 宏 一	足利市	水泳・25m背泳ぎ 1位	水泳・50m自由形 1位	肢体
小 室 元 気	(福)光誠会	水泳・50m背泳ぎ 1位	水泳・50m自由形 4位	肢体
駒 崎 茂	総和中央病院	水泳・25m平泳ぎ 1位(大会新記録)	水泳・25mバタフライ 2位	肢体
井 出 智恵美	栃木県立聾学校	一般卓球 1位		聴覚
古 森 徹 也	栃木県立聾学校	一般卓球 3位		聴覚
加 藤 輝 夫	大田原市	一般卓球 1位		肢体
齊 藤 キヨ江	宇都宮市	卓球(サウンドテーブルテニス) 2位		視覚
脇 島 廣 吉	日光市	フライングディスク・アキュラシー 1位	フライングディスク・ディスタンス 3位	肢体
森 岡 武 之	日光市	フライングディスク・アキュラシー 5位	フライングディスク・ディスタンス 6位	肢体
古 口 正 文	宇都宮南郵便局	フライングディスク・アキュラシー 7位	フライングディスク・ディスタンス 4位	肢体
白 井 柊 人	栃木県立のぞわ特別支援学校	フライングディスク・アキュラシー 4位	フライングディスク・ディスタンス 8位	肢体
木 沢 一 俊	ASB(株) 鹿沼パッド製造課	バレーボール	聴覚障害者の部 4位	聴覚
鎌 田 英 治	日産自動車(株)	バレーボール		聴覚
国 井 哲 也	(株)小松製作所 小山工場	バレーボール		聴覚
斉 藤 健 一	富士通オプティカル コンポーネンツ(株)	バレーボール		聴覚
森 田 稔	ソニーエナジー デバイス(株)	バレーボール		聴覚
佐 藤 伸	日立 アプライアンス(株)	バレーボール		聴覚

平成25年度
関東甲信越静岡ブロック
身体障害者相談員研修会

平成25年8月2日、京葉銀行文化プラザにおいて開催されました。

1 「千葉市の福祉避難所について」

〈講師〉千葉市保健福祉局高齢障害部
障害企画課長補佐 岩田真一氏

2 「相談支援と権利擁護の実務」

〈講師〉千葉県障害のある人の相談に関する
調整委員会委員長 高梨憲司氏

栃木県からは9名の相談員が参加、次のとおり感想が寄せられました。

● テーマIについて、震災をうけた後、市の対応等を資料にもとづいて詳細な説明でした。「千葉市災害時要援護者支援計画」等が作成され、拠点の福祉避難所や災害時要援護者名簿の作成や迅速かつ正確な災害情報の提供・地域の取り組み・家の中の安全対策等。市民に対する防災意識向上が減災につながり、まさにそのとおりで多く共感出来ました。

● 千葉県では権利擁護活動を中核地域生活支援センターが24時間対応しているが、重度の障害がある場合、相談へ行かない、行けない人が多くなっているそうです。

● 千葉市の福祉避難所について、東日本大震災における千葉市の状況、地震の規模、津波の状況、被害の

状態、その他災害時要援護者支援体制構築の経緯などきめ細かく説明されて大変参考になりました。

● 千葉県では平成20年9月より災害時要援護者として①65歳以上のひとり暮らし高齢者②要介護認定区分3〜5の方③重度の身体・知的・精神障害者の名簿を作成している。栃木県でも早急に必要性を感じます。

● 災害時に障がい者対策がプライバシーも含めていかに必要であるか、地域全体の課題である。

● 千葉市では災害時要援護者支援体制を構築している。支援を必要とする人の把握方法などを検討、回覧板などで住民に周知し、回覧板により災害時に要援護者を支援するための情報を記入するカードの作成（支えあいカード）。私達、栃木県は海なし県であり津波の心配はありませんが、地震や洪水被害等の心配がありますので、このような支えあいカード等を作ることの良いことと思います。もしカードを作るのであれば、県全体で行った方が良いと思います。しかし、個人情報保護法で本人や援護者がこのようなカードに記入提出することは難しいように思われる。

● テーマIIについて、講師の高梨氏は自らが全盲でありながら資料をすべて暗記されていて、講演中は健常者かと思うくらいでした。（ユーモアをまじえながら）まさ

に正確に発言をされていました。堅苦しいようなテーマでしたが、講師の心地よい話術に引き込まれ耳を傾けていました。

● 障がいとは誰もが持ちうる属性の一つ。異なる属性を有する多数派が築いた社会環境との不調和を取り除く活動が「障がいのある人のための権利擁護活動」であると説明され、千葉県での福祉活動のすばらしさを感じることが出来た。私達の今後の福祉活動の参考にしたいと思いました。

● 障害を持っている人がなぜ社会生活がしづらいかという？ 障害とは異なる属性を持つ多数派の人たちが築いた社会環境と、少数派である障害という属性を有する人たちの不調和が原因です。この不調和を改善するには、障害のある人もない人も歩み寄りが大切で、それに合わせ法律や制度等障害のある人の権利擁護が必要です。障害のある人が地域社会の中で一般の市民として当たり前のように生活してゆくには生活のしづらさの要因となつている不調和を取り除かなければならない。その活動が「障害のある人のための権利擁護活動」といえます。障害のある人のための権利擁護は、日常生活のあらゆる場面に存在し、虐待・偏見・差別と密接に関連しています。我々相談員は法律や制度のみで解決できるものでなく、障害者も自ら努

力して目標に向かって努力することが大切です。

● 障害のある人の立場に寄り添ってサービス利用に向けた情報提供や相談に併せて、望む暮らしを可能とするための権利擁護や支援が必要となる。その意味で相談支援と一体的な権利擁護活動でなければならぬ。相談員の一人として努力が必要だと思つた。

● 障害者はサービスを受ける客体的にならなければなりません。障害者相談員制度の役割と意識の高まりが必要であることを強調されていました。

● 私たち障害者はいろいろな法律により保護されているが、自ら社会生活を生き抜くことは、この法律をいかに利用してゆかかであると思われまふ。

● 多くの相談事は法律や制度のみで解決できるものでなく難しい。相談員としてのマニュアルがあると参考になります。

● 有意義な研修で大変勉強になりました。これからの相談活動に活かしたいと思ひます。

● 全体としては、視覚障害者の立場から見た相談支援や権利擁護などの意見が多かった。

● パソコンによる要約筆記が鮮明で大変ありがたかった。

● 会場がコンパクトで、ボランティアの方は丁寧に介助してくれました。

障害者スポーツ体験教室

●健康講座リフレッシュ体操

いつでもどこでもできる体操から健康づくりに取り組んでみませんか？

音楽に合わせて楽しく体を動かしましょう。

[実施日時] 11月9日(土) 10時～12時

●みんなでカローリング

氷上で行うカローリングを室内でできるように考えられたスポーツです。誰でも簡単にプレーできるため、子供から高齢者まで楽しめます。

やったことのない人でも大丈夫！是非一度は体験してほしい軽スポーツです。

[実施日時] 11月30日(土) 10時～12時

会場は各プログラムとも「とちぎ福祉プラザ」南側の「わかかさアリーナ」。参加費は無料です。

詳細はお問い合わせください。

申し込み・問合せ先

特定非営利活動法人 栃木県障害者スポーツ協会
(TEL・FAX 兼) 028-624-2761

障害年金申請

●障害年金とは？

公的な年金のひとつで、事故や病気が原因で障害を負った方へ、国から年金が給付される制度です。

●対象となる人は？

20歳から65歳未満で、日常生活を送るのに何らかの支障がある方、障害者手帳とは審査基準が違います。

「難病や重度の障害を持っている人だけなのでは？」

と思われがちですが、幅広い多くの障害（病気）が対象になります。

申請の仕方によっては、年金を受け取れなかったり、金額が少なくなったりすることもあります。

まず、対象に該当するかどうか等、詳しく知りたい方は、下記にお問い合わせください。

問合せ先

とちぎ障害年金相談センター 運営:ソウムラ労務管理事務所
真岡市荒町2-10-6 谷田部ビル4階
(TEL) 0285-85-8138 (FAX) 0285-84-4282
URL <http://www.soumura-roumukanri.jp>

JRジパング倶楽部特別会員

身体障害者手帳により購入できる乗車券以外の急行券や特急券が2～3割引で購入できる制度です

加入資格	身体障害者手帳をお持ちの方 男性60歳以上、女性55歳以上
年会費	1,300円
会員特典	<p>●JRの鉄道・航路を片道、往復または連続で201キロ以上利用の場合に使用できます。身体障害者手帳により購入できる普通乗車券以外の特急券、急行券、グリーン券、座席指定券などが2～3割引で購入できます。201キロ以上の乗車券を購入または所持の場合は特急・急行乗車距離に関係なく割引になります。</p> <p>●第1種身体障害者の介護者のみ同様の割引が受けられます。</p> <p>●割引が適用されない期間や切符類がありますのでご注意ください。</p> <p>●割引の利用は1年間で20回まで。割引率は、入会した初年度は、3回まで2割引、4回～20回は3割引、引き続き会員になりますと2年目からは20回とも3割引になります。</p>
新規申込	入会申込書と身体障害者手帳のコピーは郵送、年会費は銀行振込でお願いしています。詳細はお問い合わせください。
更新申込	お手続きは年会費のお振込のみとなります。

申し込み・問合せ先

栃木県身体障害者福祉会連合会
(TEL) 028-624-8408 (FAX) 028-624-8418

栃木県障害者文化祭 カルフルとちぎ2013

[日時] 11月1日(金)・2日(土) 10時～15時

[場所] とちぎ福祉プラザ 宇都宮市若草1-10-6

[内容] 製作品販売、模擬店、芸能発表、絵画・写真・書・工芸品の展示、カラオケ大会、福祉車両展示、マッサージコーナー、おもちゃ図書館コーナー等

女性部主催行事参加者募集

●料理講習会

簡単で豪華なおもてなし料理を作ります。

[実施日時] 12月14日(土) 10時～12時

[参加費] 2,000円

[指導者] 料理研究家・臼居芳美先生

[申込締切] 11月15日(金)

●寄せ植え講習会

お正月向けの寄せ植えを作ります。

[実施日時] 12月14日(土) 13時～15時

[参加費] 2,000円

[指導者] ガーデンうさぎ主宰・小原みどり先生

[申込締切] 11月15日(金)

実施場所は各行事とも「とちぎ福祉プラザ」です。詳細はお問い合わせください。

申し込み・問合せ先

栃木県身体障害者福祉会連合会
(TEL) 028-624-8408 (FAX) 028-624-8418



この機関紙は

赤い羽根共同募金配分金により発行しています